



道徳授業レポート「人はどうして嫉妬するのか」 ～本質観取に挑戦～

「嫉妬」という言葉を聞いて、皆さんはどんなイメージを持ちますか？

中学2年生という時期は、思春期の真っ只中。進路への不安や友人関係の悩みなど、心が揺れ動きやすい時期です。そんな今だからこそ、自分の心にある「モヤモヤ」を言葉にし、自分自身と深く向き合ってほしい。そんな願いを込めて、「本質観取」という哲学的な手法を用いた道徳の授業を行いました。

■本質観取(ほんしつかんしゅ)とは？

自分の体験から共通する特徴を抜き出し、「そもそも、それって何だろう?」と本質を対話で探っていく方法です。

■「ずるい!」の裏側にあるもの

まずは、「どんな時に、誰に嫉妬する?」という問いからスタートしました。ワークシートには、生徒たちの本音が溢れ出します。

「自分だって頑張っているのに、どうしてあの人ばかり!」
「身近な友達が褒められていると、素直に喜べない…」

対話を重ねる中で、生徒たちはある共通点に気づきました。それは、「嫉妬の対象は、全く知らない遠い存在ではなく、自分と共通点がある身近な人である」ということです。そこから一歩踏み込み、「なぜあの人気がなるの?」と問いかけると、「自分もあんなりたいと思っているからだ」という核心に迫る意見が出てきました。

■嫉妬は「自分を磨くエネルギー」

授業の後半、教室の空気はさらに熱を帯びていきました。「嫉妬した時、相手を見るのではなく、自分に何が足りないのかを問いかけてみたら?」と投げかけると、生徒たちの口から驚くような言葉が飛び出しました。

「嫉妬って、実は相手への『尊敬』の裏返しなんじゃないかな」
「自分をもっと認められたいっていう『承認欲求』のサインかも」
「嫉妬は自分を成長させるエネルギー。負けたくないと思って頑張れるから!」

「でも、上には上がいるよね?」という私の問いかけにも、「だからこそ、ずっと上を目指していける。嫉妬があるから成長し続けられるんだ」と、力強い答えが返ってきました。

■45分では足りないほどの「本音」

嫉妬を「嫌な感情」で終わらせるのではなく、「自分はどうかりたいか」を見つめる材料にする。そんな、自分と向き合うための大切な視点を、生徒たちは自らの対話で見つけ出しました。

終わりの時間が来て、「えー!もっと話し合いたかった!」「まだ考えたい」という声が止まず、次の授業の準備を促すのが心苦しいほど、白熱した時間となりました。

自分の弱さも強さも、丸ごと認めて言葉にする。そんな彼らの背中に、また一つ逞しさを感じた道徳の時間でした。ご家庭でもぜひ、お子さんの「今の本音」に耳を傾けてみてください。

【生徒のワークシート】

●今日のテーマ:「人はなぜ嫉妬するのか?」

問い1:嫉妬した時、どんなことを思っていますか? どんな人に嫉妬したことがありますか?

「いいな〜ってか、なんであんなに、などのねたみやうらやましがこみ上げてくる。私の場合、友達や恋愛、自分と相手の違いなど、(なんか)嫉妬するけど、自分はその人の感情を出さなはならない。」

問い2:なぜ、「あの人」が気になるのか? 自分よりできると感じてはるから。情、自分のメンタルが弱ってると。

問い3:嫉妬した時、あいつを見るのをやめて、「自分は何が足りないか」と思っているのか?、「本音」はどうなりたいのか?と自分に問いかけてみたらどんなことを気づきましたか?

人に嫉妬するのではなく、自分に差を感じてはいけないのは分かるし、がんばればいいと思われてしまうのは嫌。

でも、相手に嫉妬する時、自分ががんばっていることも伝えてしまってるから、がんばるだけでは片付かないし、嫉妬心はどうしても消えないので、自分の新しい長所を見出せるのは大切なこと。結果的に相手は、向かっていくのが一番良いと思った。「人はなぜ嫉妬するのか?」という問いに対する自分の考えをまとましよう。

自分ががんばってる、強みだと思ってることを伝える時、
自己肯定感 → 自信をもたない?
承認欲求 → 自信をもたない?

人と比べると、追いつけない? → キリがない?

精進する
嫉妬心 → or
はじめる → あきらめる

教師の板書よりよくまとめてあります。生徒の力はすごい!



問い1:嫉妬した時どんなことを思っていますか?

「いいな〜ってか、なんであんなに、などのねたみやうらやましがこみ上げてくる。私の場合、友達や恋愛、自分と相手の違いなど、(なんか)嫉妬するけど、自分はその人の感情を出さなはならない。」

問い2:なぜ、「あの人」が気になるのか? 自分よりできると感じてはるから。情、自分のメンタルが弱ってると。

問い3:嫉妬した時、あいつを見るのをやめて、「自分は何が足りないか」と思っているのか?、「本音」はどうなりたいのか?と自分に問いかけてみたらどんなことを気づきましたか?

人に嫉妬するのではなく、自分に差を感じてはいけないのは分かるし、がんばればいいと思われてしまうのは嫌。

でも、相手に嫉妬する時、自分ががんばっていることも伝えてしまってるから、がんばるだけでは片付かないし、嫉妬心はどうしても消えないので、自分の新しい長所を見出せるのは大切なこと。結果的に相手は、向かっていくのが一番良いと思った。「人はなぜ嫉妬するのか?」という問いに対する自分の考えをまとましよう。

自分ががんばってる、強みだと思ってることを伝える時、
自己肯定感 → 自信をもたない?
承認欲求 → 自信をもたない?

人と比べると、追いつけない? → キリがない?

精進する
嫉妬心 → or
はじめる → あきらめる

【板書】